

子どもたちと和楽器の現在

伝統文化の将来へ



長い間ずっと洋楽一辺倒だった学校の音楽の授業。日本の伝統音楽はこれまでその音を聴くことも楽器に触れることもほとんど機会がありませんでした。そんな学校教育で2002年より和楽器を取り入れることになり、いま全国の小・中学校で和楽器の授業が行われています。子どもたちの興味は和楽器の体験をとおして広く伝統文化へとつながっています。

いつか花開く子どもたちのより良い和楽器体験をめざし、また、伝統文化を次代へ伝えるための、一流の演奏家たちによる演奏とわかりやすい講演です。子どもとの接し方や専門家との協働の授業づくりなど、聴いて学んで日本の音の魅力を感じてください。

日時 : 2006年2月4日(土) 14:00~16:30 (13:30より受付)

会場 : 福井県教育センター (NHK 福井放送局前, 0776-23-1887)

講師 : 講演.....安藤 政輝 (東京藝術大学教授)
演奏.....安藤 政輝・安藤 珠希 (生田流箏)
川村 泰山 (都山流尺八)

内容 : 講演・演奏鑑賞・分科会
※分科会は実際に楽器を用いての奏法指導アドバイス、質疑応答など

対象 : 小・中学校の音楽教員, 学生(音楽専攻), 和楽器専門家,
ゲストティーチャーや地域活動で子どもの教育に携わる方,
教育関係行政職員 など
関心のある方はどなたでもご参加いただけます

参加費 : 1,000円 (当日会場にて徴収いたします)

※時間・内容は変更になる場合があります。

※教育センターは駐車場が少ないため、公共の交通機関や乗り合せ・送迎などでお越しくださいますようお願いいたします。

■講師・演奏家紹介

安藤 政輝 ando masateru / 宮城道雄・宮城喜代子・宮城数江に師事。全国邦楽コンクール児童部、宮城会第1回コンクールで第1位。1972年よりリサイタル開催。1990年より約350といわれる宮城道雄の全作品連続演奏会を継続中。1975年宮城合奏団団員として文化庁芸術祭優秀賞を受賞。日本初の音楽家による博士として国内外で演奏・教授活動に活躍。現在、東京藝術大学教授。

川村 泰山 kawamura taizan / 山本邦山(人間国宝)に師事。同志社大学、正派音楽院、NHK 邦楽技能者育成会卒。都山流本曲コンクール第1位文部大臣賞(1983年)。文化庁芸術祭賞(1988年)。独奏者としてのほか、尺八「1979」、三曲「新しい風」「むつのを」などでも活動。都山流竹琳軒。東京藝術大学非常勤講師、NHK 邦楽技能者育成会講師。

安藤 珠希 ando tamaki / 安藤政輝に師事。1995年宮城会コンクール入賞。東京藝術大学邦楽科在学中に安宅賞、卒業に際しアカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。2005年の第1回リサイタルなど箏ソリストとして国内外の多数の演奏会に出演。宮城道雄作品大全集CD収録、作曲新作初演、洋楽器とのアンサンブル等幅広く活動。東京藝術大学大学院音楽研究科(音楽教育)修了。聖徳大学非常勤講師。

■問い合わせ・申し込み先

NPO 法人 福井芸術・文化フォーラム TEL/0776-23-6905 (月~金[祝日を除く]10:00~18:00)

■締切 2006年1月31日(火)

主催 : 福井市「文化芸術による創造のまち」支援事業実行委員会
共催 : 文化庁、福井県教育委員会、福井市教育委員会
後援 : 福井新聞社

2/5(日)には専門家(箏・地歌三味線・尺八)対象の講習会を開催します。詳細はお問い合わせください。